

審議会等議事概要

平成27年度 第1回滝川市いじめ防止専門委員会 議事概要

日時	平成27年9月29日(火) 10:30～
開催場所	滝川市役所 7階 701会議室
出席者	会長：富家直明 ^{ただあき} 委員 委員：中川桂子 ^{かみづき} 委員、神原充史 ^{かみづき} 委員、豊田 ^{おきむ} 収委員 事務局：山崎教育長、田中部長、小野指導参事、吉川課長、堤係長
議事	<p>1 開 会 進行：堤係長</p> <p>2 会長挨拶 富家直明会長より挨拶</p> <p>3 教育長挨拶 山崎教育長より挨拶</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 報告</p> <p>①市及び市立学校におけるいじめの防止等に係る取組状況について</p> <p>①について、吉川課長より報告</p> <p>質疑応答等</p> <p>i 委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度のいじめアンケートにおいて、いじめは絶対に許されないと回答した児童生徒が100パーセントに満たなかったとのことだったが、今回はどのような結果であったか伺う。 <p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・一年前に比べ数値は伸びているが、100パーセントには至っていない。 <p>(2) 協議</p> <p>①いじめに関する通報・相談状況について</p> <p>②いじめ認知状況について</p> <p>①～②について、吉川課長から説明</p> <p>質疑応答等</p> <p>①について</p> <p>特になし</p>

②について

i 委員)

- ・小学校6年生の児童に対するいじめ認知に関して、いじめ認知前に行っていたいじめアンケートでいじめが浮上していたのかを伺う。

事務局)

- ・本人からいじめの訴えがあり、教育相談を行っていた。その過程で本人から「いじめはもうなくなった」という言葉があったが、今回の事を踏まえ、より慎重な教育相談が必要であったのではないかという反省を持ちながら対応を進めたところである。

委員)

- ・当該児童は以前にもいじめ認知案件の被害児童となっており、前回と今回の調査経過から、自分を抑えてしまう傾向にあると見受けられる。いじめの対応と同時に、当該児童に対しても、自己を主張することへの肯定感など、自分を守る力を育む取り組みが必要であると考ええる。

ii 委員)

- ・軽微ないじめであってもそれが継続されることにより、被害児童生徒の精神状態は悪化する。その中でいじめが再発した場合、被害児童生徒が自ら命を絶つ可能性もあることから、被害歴の長さを注視することは大変重要である。

iii 委員)

- ・昨今、小学生の暴力事案が全国的に発生している。今回のいじめ認知の案件についてもいじめの中で蹴るという暴力があったが、滝川市内において児童生徒、または教師に対する暴力行為の事案はあるのか伺う。

事務局)

- ・中学生を含め、暴力行為の事案はない。

IV委員)

- ・学校内では問題のない小学生が徒党を組んで非行行為を行う、また、一般的な良識では測れない中学生のモラルの問題などが近年の傾向にあり、学校と家庭との連携がより重要であると考えている。

V委員)

- ・「何がいじめなのか」ということを早い段階で学んでいく学校での取り組みを期待する。

VI委員)

- ・資料中の『いじめの未然防止、早期発見・早期解消に係る取組』で、いじめアンケート調査の他に、道徳教育推進事業の実施とあるが、具体的にどのようなことをするのか伺う。

事務局)

- ・各学校から1名ずつ委員を選出した道徳教育研究会という組織を作り、3か年で授業実践を行う。学級で道徳アンケートを行い児童生徒の実態把握をした上で、課題のある部分を児童生徒に考えさせる授業展開を行い、家庭にも授業内容を周知・還元することで学校と家庭が一体となって児童生徒の成

	<p>長をサポートする取り組みをする。</p> <p>4 次回の会議開催 予定日：平成28年2月上旬（予定）</p> <p>5 連絡事項 特になし</p> <p>6 閉会</p>
会議資料	会議次第 別冊資料（平成27年度夏季休業中における「教職員研修会」）